

新しい時代の日本語教材を考える



オーガナイザー

畑佐由紀子 先生

広島大学大学院人間社会科学研究科日本語教育学プログラム名誉教授
イリノイ大学、パデュー大学、アイオワ大学、モナシユ大学、広島大学等で教鞭を執るとともにカリキュラム開発及び教員養成を行う。

専門は日本語教授法と第二言語習得。

Association for Teachers of Japanese の理事、日本語教育学会の評議員、大学日本語教員養成課程研究協議会の理事などを歴任。

第1回 教育機関特性の把握 4/20 (土) 14:00-15:30 Zoom

所属教育機関のプログラムの特徴と認定機関に求められている特徴を比較し、今後のカリキュラム開発の方向性を探る。さらに、B2レベルに焦点を当て、B2レベルに対応する機関の到達目標と参照枠との整合性を評価する。

第2回 到達目標とシラバス 5/18 (土) 14:00-15:30 Zoom

B2レベルの到達目標について、ほかの機関と参加者自身が勤める機関との類似点と相違点や、その理由を探る。また、B2レベルを機関の最終到達目標として想定した場合、初級ではどのような到達目標を立てるべきかについて、共通理解を構築し、参照枠をもとに記述文のセットを構築する。

第3回 Can doに対応する言語項目の抽出 6/15 (土) 14:00-15:30 Zoom

初級用を選択した記述文に対応する言語形式を抽出し、配列を検討してシラバスを完成させる。

第4回 シラバスと教科書分析 7/20 (土) 14:00-15:30 Zoom

第3回で作成したシラバスをもとに、現在用いている教科書を分析して、シラバスにも教科書にもあるもの、シラバスにあるが教科書にないもの、シラバスにないが教科書にありかつ必要なもの、シラバスになく教科書にあるが必要性が低いものなどについて分析する。

第5回 指導法の検討 開催日時未定 Zoom + リアル会場（東京都内）予定

シラバスの内容をどのように教えるのかという方法論の問題について検討し、シラバスの1つの記述文に対応する部分について、教案を作成してみる。さらに、作成した教案を批判的に検討する。

- ・参加資格 日本語教育機関に所属し、クラス単位で指導している教師の方
※個人指導をされている方や学生の方はご参加いただけません
- ・参加費 全5回 15,000円（税込16,500円）
※特定の回のみ参加しての参加費分割などはできません
- ・定員 30名程度予定
- ・開催後の録画配信・資料提供もおこないます（一定期間・申込者のみ利用可）
- ・参加者によるディスカッション・発表なども予定しています

詳細・お申し込み

https://www.9640.jp/2024_h-seminar/

